

令和元年度 病害虫発生予察情報 技術情報第3号

～トビイロウンカの発生に注意～

令和元年 7月 30日
広島県西部農業技術指導所

1 対象作物 水稲

2 概況

- (1) 7月下旬の巡回調査(7月23～24日)において、県南部2地点でトビイロウンカ若中齢幼虫の発生が確認された。過去10年で7月下旬での発生は確認されておらず、最も早い発生である。
- (2) 8月上旬の巡回調査で発生が確認された平成21年、25年は多発生となり、注意報を発表している。
- (3) 広島地方気象台7月25日発表の1か月予報によると、向こう1か月の気象は、気温は平年並か高い確率がそれぞれ40%、降水量は少ない確率が50%と予想されており、発生に好適である。

	本年	平年	前年
発生地点率(%)	7.7	0	0
平均発生程度	1.01	1.00	1.00

3 防除対策

- (1) 現在ほ場で確認されている幼虫は飛来後第1世代幼虫と推定される。飛来後第2世代幼虫の発生盛期は8月中下旬頃と予測される。
- (2) 早生品種では、穂ばらみ期、穂そろい期防除を徹底し、第1世代幼虫を防除する。
- (3) 中生品種では、8月中下旬頃の第2世代幼虫発生盛期の防除適期となるため、穂ばらみ期、穂そろい期防除を徹底する。
- (4) 要防除水準は、飛来後第2世代幼虫が株あたり5頭以上である。
- (5) トビイロウンカは株元付近に生息する。粉剤や液剤により防除を行う際は、薬剤が株元に十分届くよう散布する。
- (6) 農薬を散布する際は使用時期(収穫前日数)、使用回数等使用基準を順守する。
- (7) 発生動向については、今後の情報発表に注意する(次回の情報は8月)。



図1 トビイロウンカ成虫(長翅型)



図2 ほ場の被害の様子「坪枯れ」

● お問い合わせ先

広島県西部農業技術指導所 植物防疫チーム
東広島市八本松町原 6869
TEL: 082-420-9662 (直通)
ホームページ(植物防疫) (<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/198/syokubou-t.html>)



広島県 植物防疫

検索

